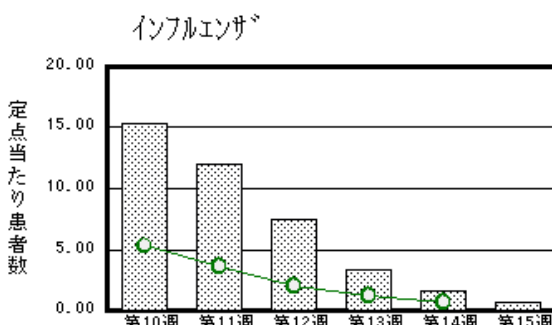
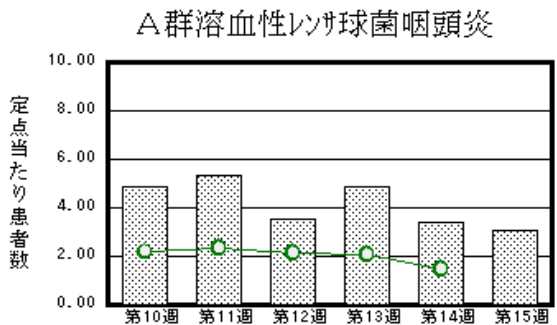
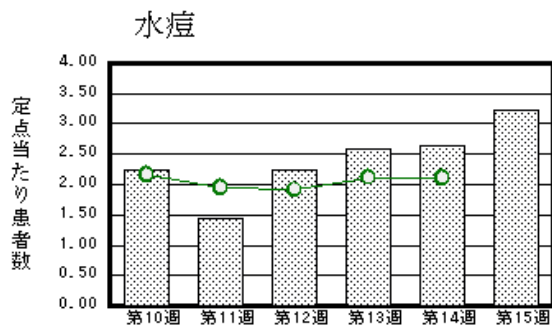
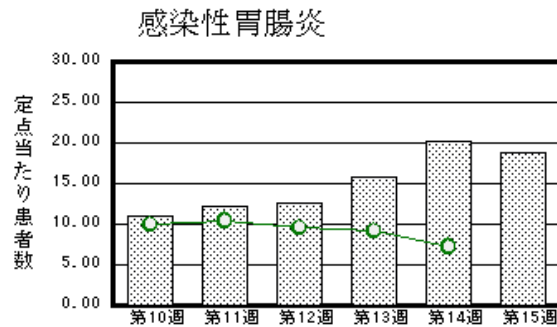


福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

<週報> 第15週 (平成16年4月5日～4月11日) 発行日：平成16年4月13日
 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎415名(18.9名) 水痘71名(3.2名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 67名(3.1名) 伝染性紅斑19名(0.9名) インフルエンザ22名(0.7名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(415名) 水痘(71名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(67名) インフルエンザ(22名) 伝染性紅斑(19名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は減少しました。(446名 415名)定点あたり患者報告数でみると二州地区29.7名、福井地区29.3名、丹南地区17.8名、坂井地区は9.3名となっています。
4. 【水痘】報告数は増加しました。(58名 71名)奥越地区で定点あたり9.5名と県内トップとなっており、続く丹南地区4.4名、福井地区2.4名となっています。
5. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は減少しました。(75名 67名)奥越地区で定点あたり12.0名、二州地区で6.7名となっています。
6. 【インフルエンザ】報告数は減少しました。(50名 22名)定点あたり患者報告数は福井地区1.1名、丹南地区0.9名、二州地区0.5名の順になっています。県全体で平年並みになりました。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点 2004年第13週号(3月22日～3月28日)要点

発生動向総覧	<第13週> 風しんの定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<風しん> 第13週の定点当たり報告数は、感染症法施行(1999年4月)以降の最高値である
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン/インフルエンザウイルス2003/04シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<E型肝炎> 経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、その病原はE型肝炎ウイルス(HEV)である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)
患者	男児 1名	男児 1名	既届出患者接触者
主な症状	下痢、血便および腹痛	嘔吐、発熱、下痢、血便および腹痛	無症状病原体保有者
感染原因・感染経路	調査中	調査中	調査中
平成15年同時期届出累計	3人(全国累計:114人)		
平成16年	福井県	有症者2人、無症者1人(第15週:4月11日現在累計)	
	全国	95人(第14週:4月4日現在累計)	

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第15週 平成16年4月5日(月)~平成16年4月11日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(14週)
小児科 (22)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く) (32)	12 1.09		2 0.5		1 0.33	7 0.88	22 0.69	50 1.56	2953 0.63
	RSウイルス感染症									76 13週)
	咽頭結膜熱	7 1.00	5 1.67	2 0.67			1 0.2	15 0.68	19 0.86	824 0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 1.43	5 1.67	20 6.67		24 12	8 1.6	67 3.05	75 3.41	4493 1.48
	感染性胃腸炎	205 29.29	28 9.33	89 29.67		4 2	89 17.8	415 18.86	446 20.27	22020 7.24
	水痘	17 2.43	3 1.00	7 2.33	3 1.5	19 9.5	22 4.4	71 3.23	58 2.64	6380 2.10
	手足口病	2 0.29						2 0.09	2 0.09	131 0.04
	伝染性紅斑	14 2.00					5 1	19 0.86	13 0.59	1125 0.37
	突発性発しん	5 0.71	1 0.33	4 1.33			2 0.4	12 0.55	10 0.45	2100 0.69
	百日咳								1 0.05	26 0.01
	風しん								1 0.05	183 0.06
	ヘルパンギーナ									155 0.05
	麻しん(成人麻しんを除く)									45 0.01
流行性耳下腺炎	6 0.86		2 0.67				2 0.4	10 0.45	7 0.32	1898 0.62
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									22 0.03
	流行性角結膜炎									546 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									9 0.02
	無菌性髄膜炎									11 0.02
	マイコプラズマ肺炎									55 0.12
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									2 0.00
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第13週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第15週 平成16年4月5日(月)～平成16年4月11日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				14	1			2						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満			1	36	4			7						12ヶ月未満								
1歳	5	1歳		1	2	105	17			2						1歳								
2歳		2歳		4	2	69	14	2		1						2歳								
3歳	2	3歳		2	10	39	11		3						2	3歳								
4歳	2	4歳		1	11	36	11		2						3	4歳								
5歳	2	5歳			10	31	5		5						2	5歳								
6歳	1	6歳		2	3	18	2		3						1	6歳								
7歳		7歳			5	20	2								1	7歳								
8歳	2	8歳			8	8	1		2							8歳								
9歳	1	9歳		4	5	10	1		3							9歳								
10～14歳	2	10～14歳		1	5	18	1		1							10～14歳								
15～19歳		15～19歳			1	5										15～19歳								
20～29歳	2	20歳以上			4	6	1								1	20～29歳								
30～39歳	1															30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上	2																							
合計	22	合計	0	15	67	415	71	2	19	12					10	合計								
前期計	50	前期計	0	19	75	446	58	2	13	10	1	1			7	前期計								
当期間/前期	0.44	当期間/前期	0	0.79	0.89	0.93	1.22	1	1.46	1.2	0	0	***	***	1.43	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数	-28	増減数		-4	-8	-31	13		6	2	-1	-1			3	増減数								

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

